

- 問1 歴史学習のテーマとして「国風文化」を扱う際、その代表例として「古今和歌集」が挙げられます。この歌集が「勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）」と呼ばれる理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2022年 三重県公立入試 類似）
1. 各地の有力な貴族が、自分たちの優れた和歌を自費で出版したため
2. 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため
3. 中国から伝わった漢詩を、日本風の和歌に翻訳してまとめたため
4. 仏教の教えを広めるために、僧侶たちが和歌の形式を借りて記したため
- 問2 平安時代末期、平氏の棟梁である平清盛は、武士として初めて太政大臣に就任し、朝廷内で強大な権力を振るいました。清盛が権力を維持するためにとった手法として、清盛の娘である徳子を高倉天皇の後（きさき）とし、その間に生まれた安徳天皇を即位させたことが挙げられます。このように、天皇の母方の親戚として政治の実権を握る立場を何と呼びますか。 （2023年 京都府公立入試 類似）
1. 摂政
2. 執権
3. 外戚
4. 関白
- 問3 11世紀後半、白河天皇が位を譲って上皇（太上天皇）となった後も、宮中（院）において政治の実権を握った政治形態を何と呼びますか。最も適切な語句を選びなさい。 （2025年 埼玉県公立入試 類似）
1. 摂関政治
2. 建武の新政
3. 院政
4. 執権政治
- 問4 日本の歴史における支配体制の変遷を整理した際、鎌倉・室町・江戸の三つの幕府はいずれも武士による政治を行いましたが、それ以前の桓武天皇の時代には異なる政治の仕組みが追求されていました。桓武天皇が平安京へ遷都した主な目的とその内容について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 （2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 大名を親藩・譜代・外様に分けて配置し、武家諸法度などの法律で厳格に統制するため
2. 大陸との貿易を統制して將軍の財政基盤を固め、南北に分かれていた朝廷を統一するため。
3. 奈良の仏教勢力の影響を排除し、天皇が官僚を通じて全国を直接支配する律令政治を再建するため。
4. 守護や地頭を全国に配置して土地の管理を武士に委ね、地方の治安維持を強化するため。
- 問5 894年に菅原道真が遣唐使の停止を提案した主な理由と、その後の日本文化に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 （2015年 富山県公立入試 類似）
1. 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。
2. 最澄や空海が伝えた新しい仏教が国内で十分に普及したためで、これにより中国との貿易が完全に禁止された。
3. 白村江の戦いで敗北したことにより唐との関係が悪化したためで、これによって仏教文化の導入が完全に途絶えた。
4. 小野妹子が隋に対して対等な外交を求めた伝統を引き継ぎ、唐の支配下に入ることを拒んだため、武家文化が成立した。
- 問6 794年に都が平安京へと移されてから約150年が経過した10世紀半ば、地方では政治の乱れに乗じて武士が勢力を伸ばしました。この時期に関東地方で反乱を起こし、自らを「新皇（しんのう）」と称して朝廷に敵対した人物は誰ですか。 （2020年 愛媛県公立入試 類似）
1. 平清盛
2. 源頼朝
3. 平将門
4. 藤原純友
- 問7 1086年に白河天皇が幼い堀河天皇に位を譲った後、上皇となってからも自ら政治の実権を握り、独自の役所を設けて行った平安時代末期の政治体制を何と呼びますか。 （2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 院政
2. 武家政治
3. 親政
4. 摂関政治
- 問8 平氏政権が、かつての藤原氏が行った摂関政治と同様の手法を用いて権力を強めた具体的な方法について、最も適切な説明を選びなさい。 （2021年 福岡県公立入試 類似）
1. 院政を行っていた上皇を幽閉し、天皇の教育係となることで、次期天皇の指名権を独占した。
2. 自分の娘を天皇のきさき（后）とし、その間に生まれた子を天皇に立てることで、自らが外戚となって政治を動かした。
3. 太政大臣として朝廷の最高職に就くだけでなく、西日本各地に守護や地頭を派遣して地方の年貢を直接管理した。
4. 独自の軍役規定を設け、全国の武士に忠誠を誓わせることで、軍事力に基づいた専制政治を確立した。
- 問9 平安京の所在地について、近畿地方の他の歴史的な拠点と比較した説明として正しいものはどれですか。 （2024年 長野県公立入試 類似）
1. 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。
2. 平安京は近江国に位置し、琵琶湖の東岸に沿って建設された。
3. 平安京は摂津国に位置し、難波宮（大阪）よりも西に位置する。
4. 平安京は伊勢国に位置し、伊勢神宮のすぐ西側に建設された。
- 問10 「この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも 無しと思えば」という歌について、この歌を詠んだ藤原道長が、自分の権力を「欠けることのない満月」に例えることができた理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 仏教を保護し、平等院鳳凰堂を建立して民衆から圧倒的な支持を得たから。
2. 遣唐使を廃止したことで大陸の影響を排除し、独自の日本文化を完成させたから。
3. 自身の娘を次々と天皇の后にし、天皇の外祖父（母方の祖父）として絶対的な権力を手にしたから。
4. 武士の力を背景に、対立する貴族をすべて追放して朝廷の役職を独占したから。
- 問11 平安時代中期、藤原道長は自分の娘である彰子、威子、嬉子らを次々と天皇の後（きさき）にしました。このように、天皇の母方の親族として政治の実権を握る立場を何と呼びますか。 （2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 守護（しゅご）
2. 執権（しっけん）
3. 管領（かんれい）
4. 外戚（がいせき）
- 問12 平安時代の外交と文化の変化について、894年に菅原道真が遣唐使の中止を建議した背景とその後の影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2018年 岐阜県公立入試 類似）
1. 唐が衰退して日本が学ぶべきことが少なくなったことや往復の危険が理由であり、中止後は日本独自の「国風文化」が発達する一因となった。
2. 聖徳太子以来の仏教中心の政治を否定するために行われ、大陸との交流を完全に断つことで平清盛による武家政治が始まるきっかけとなった。
3. 宋との日宋貿易を独占的に開始するための準備として行われ、貴族の間で中国の文化をそのまま取り入れる傾向が一段と強まった。
4. 国内での仏教振興が十分に進んだために行われ、この中止によって平氏に代わる源氏の勢力が地方で急速に拡大することになった。
- 問13 国風文化が栄えた平安時代中期、藤原氏による摂関政治が行われていた時期の貴族の住居様式について説明した文として、適切なものはどれですか。 （2019年 大分県公立入試 類似）
1. 禅宗の影響を受け、書斎や床の間を備えた「書院造」という様式が完成した。
2. 厚い壁と小さな窓を特徴とし、外敵からの防御を重視した「城郭造」が一般化した。
3. 中心となる建物に廊下をつなぎ、池や庭園を配置した、風通しの良い「寝殿造」が発達した。
4. 高床住居をさらに発展させ、周囲に深い堀を巡らせた「環濠集落」の形式をとった。